

2024年度 公益社団法人 日本栄養士会 定時総会のご案内

公益社団法人日本栄養士会

〒105-0004

東京都港区新橋5-13-5新橋MCVビル6階

TEL:03-5425-6555 FAX:03-5425-6554

<https://www.dietitian.or.jp/>

* 日本栄養士会ホームページ お知らせ より
ログインしてご覧ください。

2024年度 公益社団法人 日本栄養士会 定時総会 開催通知

2024年6月3日

代議員・会員各位

公益社団法人日本栄養士会
代表理事会長 中村 丁次

日 時 2024年 6月22日(土) 13:00～17:00
6月23日(日) 9:00～12:00

場 所 パシフィコ横浜 会議センター5F 「501+502」
神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1 TEL 045-221-2155

構成員 代議員

総会議題

第1号議案 2023年度事業報告、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、
財産目録の承認の件

第2号議案 理事選任の件

第3号議案 監事選任の件

第4号議案 役員報酬承認の件

第5号議案 名誉会員承認の件

協議事項 2024年度事業執行計画、予算について

協議事項 令和6年度社会保障制度（診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬）の
改定について

日 程

第1日 6月22日(土)

12:00～13:00 受 付

13:00～14:00 特別講演 「国の栄養政策の動向について（案）」

厚生労働省健康・生活衛生局健康課栄養指導室室長 清野富久江

14:00～17:00 議 事

(14:00～14:20) 開 会

会長挨拶

議長団選出・議事録署名人選出・書記団指名・総会運営委員指名

総会成立宣言

(14:20～15:00) 第2号議案 理事選任の件（提案説明・選任決議）

(15:00～15:50) 第1号議案 2023年度事業報告、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、
財産目録の承認の件（提案説明）

(15:50～16:00) 第3号議案 監事選任の件(提案説明・討論・採決)
(16:00～16:10) 第4号議案 役員報酬承認の件(提案説明・討論・採決)
(16:10～16:20) 第5号議案 名誉会員承認の件(提案説明・討論・採決)
(16:20～16:55) 協議事項 2024年度事業執行計画、予算について(提案説明)
(16:55～17:00) 第2号議案 理事選任の件(選任決議報告)
18:00～20:00 情報交換会(パシフィコ横浜 会議センター5F「503」)

第2日 6月23日(日)

8:30～ 9:00 受付
9:00～ 9:20 総会式典
9:20～12:00 議事
(9:20～10:00) 第1号議案 2023年度事業報告、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)、
財産目録承認の件(討論・採決)
(10:00～10:40) 協議事項 2024年度事業執行計画、予算について(討論)
(10:40～12:00) 協議事項 令和6年度社会保障制度(診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス
等報酬)の改定について(提案説明・討論)
12:00 閉会

【注意事項】

1. 上記議案の内容は「総会資料」(ホームページ「お知らせ」で閲覧できます。代議員の方へは別途郵送します。)をご覧ください。出欠につきましては、次によりご手配ください。
 - (1) 出席する代議員は、その旨を所属都道府県栄養士会に届け出てください。
 - (2) 欠席する代議員は、その旨を所属都道府県栄養士会に届け出るとともに、必ず委任状を提出してください。
 - (3) 都道府県栄養士会長は、所属代議員の出欠(①総会、②情報交換会)を確認し、6月12日(水)までに日本栄養士会長に指定の様式にて届け出てください。欠席する代議員の委任状も併せて提出してください。
 - (4) 代議員以外の出席を希望する会員は、①所属都道府県栄養士会名、②会員番号、③氏名、④出欠(総会、情報交換会)を記載し、6月12日(水)までに日本栄養士会長にファクシミリ(03-5425-6554)またはメール(soumu-ka@dietitian.or.jp)にて申し出てください。
2. 総会出席者は、定刻までに受付を済ませて、総会会場にご着席ください。

公益社団法人日本栄養士会理事候補者について

2024 年 6 月 3 日

代議員各位

公益社団法人日本栄養士会
選任決議管理委員長 片桐 小津枝

2024 年 4 月 8 日付けで、日本栄養士会ホームページ等で告示をした理事選任総会決議について立候補がありました。

2024 年 4 月 26 日に選任決議管理委員会を開催し、候補者の資格審査を行いました。その結果、別表のとおり理事候補者を決定したので、役員選任総会決議にかかる手続規程第 17 条第 1 項に基づき告示します。

1. 一般理事選任決議分野候補者（届出順）

No.	氏 名	都 道 府 県	職 域	備 考
1	原 純也	東京都	医療	
2	森 茂雄	愛知県	医療	
3	赤尾 正	大阪府	研究教育	
4	下浦 佳之	兵庫県	地域活動	
5	須永 将広	東京都	医療	
6	鈴木 志保子	神奈川県	研究教育	
7	宮島 功	高知県	医療	
8	西村 一弘	東京都	研究教育	
9	西岡 心大	長崎県	医療	
10	米山 久美子	東京都	医療	
11	本川 佳子	東京都	研究教育	
12	阿部 絹子	群馬県	地域活動	
13	中村 丁次	神奈川県	研究教育	
14	塚原 丘美	愛知県	研究教育	
15	加藤 すみ子	福島県	福祉	
16	富田 文代	滋賀県	福祉	
17	武藤 真紀	福島県	学校健康教育	
18	渡邊 啓子	福岡県	研究教育	

2. 職域理事選任決議分野候補者（届出順）

No.	氏 名	都 道 府 県	職 域	備 考
1	小林 道	北海道	研究教育	研究教育から推薦あり
2	中田 智子	栃木県	学校健康教育	学校健康教育から推薦あり
3	茂呂（望月）ひとみ	東京都	フリーランス・ 栄養関連企業等	理事会から推薦あり
4	諸岡 歩	兵庫県	公衆衛生	公衆衛生から推薦あり
5	宮崎 純一	群馬県	医療	医療から推薦あり
6	元家 玲子	愛媛県	福祉	福祉から推薦あり

公益社団法人日本栄養士会理事選任総会決議の方法について

2024 年 6 月 3 日

代議員各位

公益社団法人日本栄養士会
選任決議管理委員長 片桐 小津枝

公益社団法人日本栄養士会定款第 21 条第 1 項、第 3 項および役員選任総会決議にかかる手続規程第 6 条から第 19 条までにに基づき、総会会場にて理事の選任に関する選任決議を次の分類ごとに行います。

1. 一般理事選任決議分野候補者 18 名 総会会場で選任の可否を問う選任決議を行います。
2. 職域理事選任決議分野候補者 6 名 総会会場で選任の可否を問う選任決議を行います。

=====選 挙 公 報=====

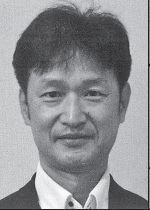
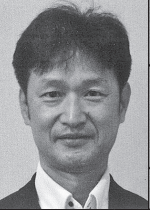
◆各候補者から届出のあった事項を公報します。
(各候補者から提出のあった公報原稿を、そのまま掲載します。)

1. 一般理事選任決議分野候補者
2. 職域理事選任決議分野候補者

1. 一般理事選任決議分野候補者

◎ 一般 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 1	ふりがな	はら じゅんや	性別	☒ 男 ・ 女	
		氏名	原 純也	(満52歳)				
		勤務先	名称 日本赤十字社 武蔵野赤十字病院 〒 180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 TEL 0422-32-3111					
		所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員番号	0 1 3 0 2 8 3 3	所属職域	医療	
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】平成4年～平成9年国内フードサービス（株） 平成9年～平成11年多摩丘陵病院 平成11年～平成13年国内フードサービス 平成13年～平成24年多摩丘陵病院 平成24年～武蔵野赤十字病院 【業績】10年永年表彰 【会員・役員歴】 平成19年入会 平成20年～東京都栄養士会医療部会 役員 平成22年～24年 東京都栄養士会 幹事 医療部会事業部長 平成24年～ 日本栄養士会医療事業部企画運営委員 ・平成26年～東京都栄養士会 理事（～28年事業部長） 平成28年～30年 日本栄養士会医療事業部企画運営副委員長 平成30年～ 日本栄養士会医療事業部企画運営委員長（現 事業推進委員長） ・日本栄養士会 医療職域担当理事 令和2年～ 常任理事（職域統括部長）				平成30年度より医療事業推進委員長・医療職域担当理事と拝命し、令和2年度より職域統括部長を拝命し、現在の社会保障費制度を中心とし、職責を果たすべく仕事をまいりました。会員や各都道府県栄養士会事業推進委員等の協力もあり、管理栄養士の病棟配置について一定程度の成果を上げることができました。また、他職域との連携を深めるべく理事勉強会を定期的に開催し相互の理解を深める活動や職域統括事業部会を年1回開催、顔の見える関係作りと次世代育成を進めてまいりました。また、「経済財政運営と改革の基本方針2023」（骨太方針2023）においては、健康寿命を延伸し、高齢者の労働参加を拡大するためにも、健康づくり・予防・重症化予防を強化し、リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理の連携・推進を図ることが示されました。栄養関連については、日本の施策の中心となり、その役割は管理栄養士が果たしていくことと考えており、今まで以上に会員同士の顔の見える関係作りが重要であると考えます。今後は今までの医療職域担当理事の経験を活かし、医療－介護－地域における同職域間連携及び多職種連携を更に推進すべく尽力する所存です。			

◎ 一般 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 2	ふりがな	もり しげお	性別	☒ 男 ・ 女	
		氏名	森 茂雄	(満43歳)				
		勤務先	名称 愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院 〒 470-0396 愛知県豊田市浄水町伊保原500-1 TEL 0565-43-5000					
		所属都道府県 栄養士会	愛知県 栄養士会	会員番号	0 2 3 7 1 8 0 0	所属職域	医療	
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】2001年～2006年 社会医療法人 杏嶺会 上林記念病院 2006年～2007年 社会福祉法人 たんばば福祉会 2007年～2009年 JA愛知厚生連 稲沢厚生病院 居宅介護支援事業所 2009年～2020年 同院 栄養管理室異動 2020年～ JA愛知厚生連 豊田厚生病院 栄養管理室 【業績】 2014年 日本病態栄養学会病態栄養コンテスト最優秀賞 2015年 JSPEN JEFFスカラーシップ賞 2019年 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 感謝状表彰 【会員・役員歴】 会員歴 2002年～2004年、2012年～現在 計16年 ・役員歴 2019年～日本栄養治療学会（JSPEN）学術評議員 2021年～日本在宅栄養管理学会評議員（学術・研究事業委員会） 2021年～2023年 公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団 人生の最終段階を含めた虚弱高齢者に対する食支援の在り方に関する研究 検討委員 2024年～肝疾患病態栄養専門管理栄養士合同委員会委員 2024年～愛知県栄養士会医療部会委員				昨今の診療報酬・介護報酬改定では、管理栄養士を必要とする算定制度が急速に整備されています。医療では、診療域別の専門性や急性期、回復期、慢性期といった医療機能と患者の状態に応じた総合的な栄養療法が必要です。加えて、医療機関から福祉施設や在宅へのシームレスな栄養管理は治療からケアへの移り変わりに多職種と実践することが求められます。これらの栄養管理は、臨床栄養と給食管理の両輪で成り立っていることから、幅広いマネジメント力が必須になります。しかしながら、各都道府県栄養士会や様々な研修会の現状から個々の職場だけでは、解決困難な課題が山積しています。管理栄養士・栄養士は一人職場であることも多く、養成校卒業後の教育体制が職場の裁量に委ねられることも珍しくありません。現状では、会員の皆さんの日々の努力で成り立っている点も多いことから職能団体としての人材育成が急務であると考えます。現在、日本栄養士会の立場から肝疾患病態栄養専門管理栄養士合同委員会に参加させて頂いており、専門性の高い管理栄養士の育成に注力しています。それだけでなく現場目線による今後10年先を見据えた人材育成の基盤を構築し、全国どこでも標準的な栄養管理を実践できる体制を整えます。そして、誠実に業務に邁進されている会員の皆さんの取り組みの成果が反映されるように努めて参ります。			

◎ 一 般 理 事 選 任 決 議 分 野 候 補 者		届出番号	※ 3	ふりがな	あかお ただし	性別	男・女
		勤 務 先	名称	大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科		TEL 06-6723-8181	
			〒 577-8550 大阪府東大阪市菱屋西4-2-26				
		所属都道府県 栄養士会	大阪府 栄養士会	会員 番号	0 2 7 0 4 2 8 7	所属職種	研究教育
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 1989年～2003年 徳洲会野崎病院 栄養科 (2002年～2005年 栄養室長) 2003年～2005年 松原徳洲会病院 栄養科 (1998年～2005年 医療法人徳洲会グループ 栄養 部会 副部長) 2005年～2010年 大阪薫英女子短期大学 専任講師 2010年～2015年 大手前栄養学院専門学校 准教授 2015年～2017年 大手前大学 准教授 2017年～現在 大阪樟蔭女子大学 准教授	立 候 補 の 抱 負	管理栄養士・栄養士の活躍する地域・職域は幅広く、1～3次予防に関わり、多様な方への日常的な食のサポートが重要と考えます。 また、グローバル化が進む現代社会において、世界の流通・経済・社会を理解し、クライアントに対して持続可能な栄養・食サービスの構築が求められます。 そのためには、少子高齢化が進む各地域の課題を解決するため、各種情報や産業発展、IoT、AI等の進歩を正確に理解し、適切に活用する必要性を感じております。 以上より、3点を中心にできる限り力を尽くしたいと考えております。			
		【業績】 2015年 日本栄養士会会長表彰 2017年～2023年 日本給食経営管理学会 理事長 (2022年4月～ 一般社団法人) 【会員・役員歴】 1990年～現在 日本栄養士会 会員 1993年～2002年, 2022年～2024年 大阪府栄養士会 理事 2022年～2024年 日本栄養士会 理事	1. 産官学の連携強化 保健・医療・福祉・教育関連の枠を超えた様々な企業や学協会、行政機関との連携強化を目指します。 2. 管理栄養士・栄養士の資質向上 「健康な毎日」の実現に貢献するための事業を推進します。 3. 管理栄養士・栄養士の社会ニーズに沿った養成 変化する社会ニーズと推進する事業のリンクを目指します。				

◎ 一 般 理 事 選 任 決 議 分 野 候 補 者		届出番号	※ 4	ふりがな	しもうら よしゆき	性別	男
		勤 務 先	名称	公益社団法人日本栄養士会		TEL 03-5425-6555	
			〒 105-0004 東京都港区新橋5-13-5 新橋MCVビル6階				
		所属都道府県 栄養士会	兵庫県 栄養士会	会員 番号	0 2 8 7 0 1 7 5	所属職種	地域活動
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 1981年 兵庫県立光風病院 給食課 1990年 兵庫県立尼崎病院 給食課 主任 1994年 兵庫県福祉部地域福祉課 監査指導係 主査 2000年 兵庫県立こども病院 栄養指導課長 2008年 兵庫県立加古川病院 次長兼栄養指導課長 2009年 兵庫県立加古川医療センター 同 2012年 兵庫県立がんセンター 栄養管理部次長兼栄養管理課長 2016年 兵庫県立尼崎総合医療センター 同役職 2017年6月30日附 兵庫県職員退職 【会員・役員歴】 会員歴：1981年～現在 (43年) 日本栄養士会役員歴： 日本栄養士会理事(理事9期 2006年～現在) 専務理事 (2019年～現在) 常務理事 (2014年～2019年) 2017年7月より常勤 日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)総括 (2012年～現在) 栄養77・アクション推進・事業部長(2010年～2013年) 学術情報部長 (2008年～2009年) 生涯学習検討会委員長 (2006年～2007年) 兵庫県栄養士会役員歴： 兵庫県栄養士会 副会長 (2012年～現在) 栄養77・アクション委員長・生涯学習委員長他 ・兵庫県 小児保健協会理事 【講師等】神戸学院大学客員教授 【学会等】 特定非営利活動法人 日本栄養改善学会理事 公益財団法人 国際医療技術財団 JIMTEF災害医療研修委員会委員 兵庫県小児保健協会理事	立 候 補 の 抱 負	我が国において、新型コロナ禍という未曾有の事態に直面し、生活様式や食のスタイルが変化し、安全・安心と維持向上に対する要求水準の一層の高度化・複雑化、少子高齢化の進展の一方で、IT等を活用した新たなライフスタイルの模索等、大きな変革を遂げようとしています。日本栄養士会としても様々な課題に対して、真摯に対応し、事業展開への取組を推進する必要があります。今回の理事としての立候補の抱負は、以下のとおりです。 1. 管理栄養士等の地位向上と専門性の向上：生涯教育プログラムの改善や認定資格等の見直しを提案し、専門性や知識の向上に努めます。 2. 健康増進活動の推進：社会全体に向けた健康増進活動の推進を行い、栄養の指導や食事管理の重要性を訴えます。 3. 関連業界との連携強化：賛助会員企業をはじめとして連携を強化し、専門性を活かした情報提供や健康増進プロジェクト等を積極的に推進します。 4. 地域社会との連携強化：栄養CS等を通じて、地域社会における健康増進活動や食育活動、災害支援活動への体制構築を推進し、地域住民の健康意識向上を図ります。 5. 国際交流の促進：国際交流活動を通じて、世界の持続可能な開発目標(SDGs)の推進に貢献します。 これらを具体的な施策やプログラムに落とし込み、会員や関係者の皆様の支持を得られるような事業提案を行います。また、引き続き、専務理事としての職務についても責務を果たす所存です。			

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 5	ふりがな	すなが まさひろ	性別	男・女	
		氏名	須永 将広 (満 47 歳)					
		勤務先	名称 国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 〒 277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1 TEL 04-7134-6909					
		所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員 番号	01304486	所属職域	医療	
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 2001年4月 国立松本病院 栄養管理室 2006年12月 厚生労働省健康局生活習慣病対策室 出向 2010年4月 国立がん研究センター中央病院 栄養管理室 2014年4月 国立病院機構横浜医療センター 栄養管理室 2017年4月 国立病院機構渋川医療センター 栄養管理室 2022年4月 国立病院機構災害医療センター 栄養管理室 2023年4月 厚生労働省医政局地域医療計画課 出向 2024年4月 国立がん研究センター東病院 栄養管理室 【業績】 「全国病院栄養部門実態調査から見た管理栄養士の病棟配置の現状と課題」、臨床栄養 Vol.140, No.5, pp.615-619, 2022.5 【会員・役員歴】 会員歴 平成22年度～ 現在に至る 役員歴 ・平成24年度～令和4年度 東京都栄養士会医療事業部企画運営委員 ・平成26年度～令和4年度 東京都栄養士会理事 ・平成28・29年度 日本栄養士会医療事業部企画運営委員 ・平成30・31年度 日本栄養士会医療事業部常任企画運営委員推進委員 ・令和2～4年度 日本栄養士会医療職域副委員長		・わが国では少子高齢化が進み、高齢者の増加、生産人口の減少という時代を迎え、地域住民、医療機関や介護保険施設等、様々な場での食事・栄養が重要となる。これを担う管理栄養士・栄養士の果たす役割はますます大きくなり、そして、これに応える管理栄養士・栄養士の必要性は一層高まる。当然、管理栄養士・栄養士が集う職能団体としての日本栄養士会の果たす役割は重く、大きくなる。これまで管理栄養士として、医療機関と行政で経験してきたことを活かし、目の前に直面する多くの課題に取り組んでいく所存です。					
	立候補の抱負							

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 6	ふりがな	すずき しほこ	性別	男・女	
		氏名	鈴木 志保子 (満 58 歳)					
		勤務先	名称 公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 〒 238-8522 横須賀市平成町1丁目10番1 TEL 046-828-2658					
		所属都道府県 栄養士会	神奈川県 栄養士会	会員 番号	01405350	所属職域	研究教育	
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 2000年～2003年 国立鹿屋体育大学助教授 2003年～2009年 神奈川県立保健福祉大学助教授 (2007年4月より准教授、大学院兼務) 2009年～2021年 公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 (大学院兼務) 教授 2021年～2023年 同大学 栄養学科長 2023年～現在 同大学大学院 保健福祉学研究科長 【業績】 2009年～2015年 NPO法人 日本スポーツ栄養学会会長 (2009年～2013年研究会) 2009年 NPO法人 日本栄養改善学会学会賞受賞 2015年～現在 (公財) 日本体育協会 スポーツ医・科学専門委員会委員 2017年～2019年 公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「飲食戦略検討会議」委員、「東京2020大会メニューアドバイザー委員会」副座長 2017年～現在 (公財) 日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会女性スポーツ委員会委員 2018年～現在 (一社) 日本スポーツ栄養協会理事長 2012年～現在 厚生労働省や文部科学省等の検討会構成員等を多数務めている。 2009年10月に公認スポーツ栄養士を取得し、アスリートへの栄養サポートを現在も継続している。また、アスリートを対象とした栄養管理、子どもの発達発達等をテーマに研究を行っている。 【会員・役員歴】 2004年～現在 日本栄養士会 会員 2014年～現在 日本栄養士会 理事 2016年～2018年 日本栄養士会 情報コミュニケーション事業部副部長 2018年～現在 日本栄養士会 常任理事 情報コミュニケーション事業部部長 2018年～現在 日本栄養士会 副会長		理事として10年、副会長として6年が経ちます。今期2022年度は、コロナ禍においても会員が仕事や業務、学びを続けられるように、2023年度は、リモートと対面を効果的に活用することを考えながら活動を行ってきました。 副会長・情報コミュニケーション事業部長として、国民へ管理栄養士・栄養士の存在や業務のアピールを目的に「栄養の日・週間」を、管理栄養士・栄養士の知識やスキルの向上を目的に「全国栄養士大会」を企画・運営から実施してまいりました。 また、日本栄養士会の役割の1つである「管理栄養士・栄養士が実施する国民のための方針や方策である政策」を進めるために政策集団を職域の活動として位置づけ推進してまいりました。 副会長として、会長、理事、事務局の皆様にご協力・サポートをいただきながら、今まで以上にさまざまな事業や政策活動を活発に行うことができました。 この2年間、都道府県栄養士会、会員（賛助会員を含む）の皆様にご協力いただき、評価・改善を繰り返しながら前進し続けていることに感謝いたします。 2024年度からの2年間は、社会の流れをしっかりと把握し、管理栄養士・栄養士への影響を的確にとらえ、事業や政策に反映して実行していきます。 また、予想していなかった事態など、いかなる状況に対しても、冷静に分析し、管理栄養士・栄養士のために活動します。 2024年度からの2年間も、覚悟をもって理事に立候補します。					
	立候補の抱負							

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		※	ふりがな	みやじま いさお		性別	◎男・女						
		届出番号	7	氏名	宮島 功 (満 42 歳)								
		勤務先	名称 社会医療法人近森会 近森病院 〒 780-8522 高知県高知市大川筋1丁目1-16 TEL 088-822-5231										
			所属都道府県 栄養士会	高知県 栄養士会	会員 番号	1	0	0	1	2	7	6	7
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 2007年4月～2009年3月 済生会横浜市東部病院 2009年4月～現在 近森病院 2020年4月～現在 近森病院 臨床栄養部部长	2022年度に高知県栄養士会理事を拝命し、現在は医療事業部長および生涯教育委員長を務めております。“最新の知識と情報の発信”および“卒後・生涯教育の充実”の2つを目標に掲げ、高知県栄養士会の事業に従事してまいりました。 この2年間で高知県において、認定管理栄養士・認定栄養士の取得者が少ない現状や会員数の減少が課題に挙げられ、さらに災害時食支援体制、栄養ケア・ステーションの充実の必要性を強く感じました。また、各都道府県栄養士会の生涯教育担当者会議や研修会を通して、会員増対策、専門管理栄養士の育成、診療報酬・介護報酬改定への対応などの多くの課題や今後の取り組むべき事業について理解することができました。 日本栄養士会理事として、“最新の知識と情報の発信”および“卒後・生涯教育の充実”の2つの目標を掲げつつ、会員増対策、専門管理栄養士の育成、診療報酬・介護報酬改定への対応のための企画や情報発信等をさらにすすめてまいりたいと思っております。また、日本栄養士会のミッションである「誰一人取り残さない栄養政策」のもと管理栄養士・栄養士の使命と責務を自覚し、事業に取り組み健康・栄養課題の解決を目指したいと思っております。 これまでの経験を活かし、日本栄養士会活動の発展のため貢献できるよう尽力して参ります。											
	【業績】 なし	立候補の抱負											
		【会員・役員歴】 ・ 2018年 入会 ・ 2022年～現在 高知県栄養士会 理事 ・ 2023年～現在 高知県栄養士会 医療事業部長 ・ 2023年～現在 高知県栄養士会 生涯教育委員長											

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		※	ふりがな	にしむら かずひろ		性別	◎男・女					
		届出番号	8	氏名	西村 一弘 (満63歳)							
		勤務先	名称 駒沢女子大学 〒 206-8511 東京都稲城市坂浜2 3 8 番地 TEL 042-350-7233									
			所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員 番号	0	1	3	0	3	9	5
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 1982年3月 社会福祉法人緑風会緑風荘病院入職 1996年4月 老人保健施設グリーン・ボイス主任兼務 平成15年9月 東京家政学院大学非常勤講師兼務 2004年4月 緑風会健康推進部主任兼務 平成27年4月 駒沢女子大学人間健康学部入職 【業績】 2005年6月 NPO法人西東京臨床糖尿病研究会功労賞 2006年5月 東京都栄養士会永年会員表彰 2008年11月 東京都糖尿病協会個人功績賞表彰 2015年10月 東京都知事賞表彰 【会員・役員歴】 ・ 会員歴 ・ 1996～2024年 日本栄養士会、東京都栄養士会 ・ 役員歴 (東京都栄養士会) ・ 2005年～2024年 医療部会役員 ・ 2012年～2014年 医療事業部企画運営委員長 ・ 2012年～2024年 理事 ・ 2016年～2024年 代表理事会長 ・ 役員歴 (日本栄養士会) ・ 2006年～2008年 医療事業部幹事 ・ 2008年～2012年 同常任幹事 ・ 2012年～2016年 同副委員長 ・ 2008年～2020年 理事 (京浜地区担当、栄養ケア・ステーション事業部副部長など) ・ 2020年～2024年 常任理事 (地域連携部長)	私はこれまで8期16年間日本栄養士会の理事・常任理事として、厚生労働省の栄養ケア活動整備事業（よりそいプロジェクト、共食の場における配食サービス活用事業など）の運営委員や評価委員、東日本大震災の被災地支援やJDA-DAT研修会の立ち上げ、認定栄養ケア・ステーション制度の確立、診療報酬改定と診療報酬・介護報酬同時改定委員、令和3年度から毎年介護報酬改定データベースワーキング委員長、日本栄養士会教育センター立ち上げ準備会の委員、京浜地区担当理事などを歴任して、管理栄養士・栄養士の様々な制度作りに携わらせていただきました。 また、超高齢社会において限りある財源の中で管理栄養士・栄養士には、国民の健康長寿を延伸させる専門職として多大な期待をされ、私自身も現在、厚生労働省における高齢者の保健事業におけるあり方検討会、介護情報活用検討委員会やその推進ワーキンググループの会議、LIFEフィードバック検討会議などの委員を拝命し、日本栄養士会を代表する意見を述べさせて頂いています。 今後も管理栄養士の地位向上、管理栄養士・栄養士が活躍できる制度づくりに尽力したいと思っておりますので、宜しくお願い致します。										
	立候補の抱負											

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 9	ふりがな	にしおかしんた	性別	男・女	
		勤務先	名称 一般社団法人是真会長崎リハビリテーション病院 〒 850-0854 長崎県長崎市銀屋町4-11 TEL 095-818-2002					
		所属都道府県 栄養士会	長崎県 栄養士会	会員 番号	0 4 2 0 2 0 0 6	所属職域	医療	
		【職歴】 2002-2005年 国立病院・療養所 2005-2011年 医療法人(現社会医療法人)近森会 2011-2018年 長崎リハビリテーション病院教育研修部 2012-現在 同 栄養管理室室長(兼) 2018-現在 同 法人本部人材開発部副部長(兼) 2022-現在 同 教育研修部副部長(名称変更) 2021-現在 藤田医科大学医学部客員講師(兼) 2021-現在 徳島大学大学院専門研究員(兼) 【業績】 2017年 日本病態栄養学会 清野裕賞 2018年 日本静脈経腸栄養学会 フードシグ賞 2019年 日本栄養士会 84 selection ・ 2021, 2023 Best Reviewer Award 2020/2022, Geriatrics & Gerontology International 2021年 Poster Presentation Award, the 2nd World Dysphagia Summit 2022年 Excellent Poster Award, ACD2022 ・ 2020-現在 Academy of Nutrition and Dietetics (AND): Evidence Analysis Library Workgroup: International Affiliate of AND: Country Representative (2022-) 2021-現在 回復期リハビリテーション病棟協会:理事/副栄養委員長/保険調査委員(2019-) 2017-現在 日本リハビリテーション栄養学会:理事/代議員/編集委員/診療ガイドライン委員/研究調査委員/管理栄養士部会委員/国際委員(2019-) 2014-現在 日本栄養治療学会:学術評議員/代議員(2018-)/臨床栄養コンサル検討委員(2019-)/国際教育WG委員/栄養士・管理栄養士部会委員(2021-) 2016-現在 日本リハビリテーション学会:評議員(2020-)/リハビリ指導士制度委員(2022-) 2021-現在 日本腎臓リハビリテーション学会:代議員/SR作成委員/教育研修委員(2023-)等 【会員・役員歴】 2006-現在 日本栄養士会:理事(2022-)	立候補の抱負	病院管理栄養士として臨床、教育、管理に約20年従事し、特に回復期リハビリテーション病棟における管理栄養士の役割の確立、エビデンス創出を通じて診療報酬改定における専任管理栄養士配置の義務化に貢献してきた。 2022年より本会理事として、主に人材育成事業(小児栄養分野栄養士・管理栄養士制度、TNT-J等)、学術研究事業、国際事業、日本脳卒中医療ケア従事者連合事業、腎臓病療養指導士事業等に従事した。また令和6年診療報酬改定に際しては、日本栄養治療学会との連携のもとGLIM基準研修プログラムの企画立案を担当した。 医療・介護・障害報酬のトリプル改定で見られたように、これまで以上に栄養士・管理栄養士が社会から求められる役割は拡大している。理事として選任していただいた際には、引き続き栄養士・管理栄養士の栄養指導・栄養管理にかかる知識・技術の涵養、実態調査等に基づく栄養士・管理栄養士の栄養指導・栄養管理の実践状況の把握、国際活動への貢献、これらを通じた栄養士・管理栄養士の社会的地位や認知度の向上に尽力したい。また、エビデンスに基づく政策立案が推進される中、栄養士・管理栄養士が信頼される専門職であり続けるためには、医療・介護などあらゆる分野において正しい根拠に基づく栄養評価、栄養指導、栄養管理を実践できる必要があると考える。これを踏まえて、人材育成の観点から国際標準の知識・技術の実装に貢献し、会員の皆様の活動を支援するとともに会の発展に寄与したい。				

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 10	ふりがな	よねやまこみこ	性別	男・女	
		勤務先	名称 医療法人社団白木会木下皮フ科 地域栄養サポート自由が丘 〒 158-0083 東京都世田谷区奥沢 5-21-15 TEL03-3718-9907					
		所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員 番号	0 1 3 0 5 2 0 3	所属職域	医療	
		【職歴】 2000年管理栄養士取得。2022年東京医療保健大学大学院修士課程(医療栄養学)修了。1997年～給食委託会社にて高齢者施設等の経験を経て、2001年～伊藤病院勤務。2006年～フリーランスとして活動し現在に至る。 2010年～現在 木下皮フ科地域栄養サポート自由が丘 2016年～現在 世田谷・杉並区総合事業訪問型「eatcoco(2021年～機能強化型)」 2018年～現在 認定栄養ケア・ステーション 2021年～現在 江東区東砂福祉園 2022年～現在 慶應義塾大学看護医療学部非常勤講師 【会員・役員歴】 2008年～2010年および2011年～会員 ・ 2020年～東京都栄養士会栄養ケア・ステーション委員会委員 2021年～日本栄養士会栄養ケア・ステーション事業部推進委員会委員 2022年～2023年 東京都栄養士会地域活動事業部運営委員	立候補の抱負	在宅訪問栄養食事指導を中心に、機能強化型認定栄養ケア・ステーション事業や大学での講師、障がい者の通所施設等において管理栄養士業務に携っております。また、2008年より国際・アジア栄養士会議に参加している経験も活かし、幅広いビジョンを以て活動に取り組んでまいります。 この度、初めて理事への立候補の機会をいただきました。今まで培った経験を活かし、日本栄養士会の発展のため、また「栄養の力で人々を健康に、幸せにする」ことに貢献できるよう、微力ではございますが尽力する所存でございます。 令和6年度医療・介護・障害福祉のトリプル改定、また第8次医療計画においても「訪問栄養食事指導」「栄養ケア・ステーション」への期待が高まっています。そのため、1) 在宅に訪問できる管理栄養士の育成や業務が円滑に遂行できるよう体制整備や他団体との連携に努めます。2) 地域で活躍できる管理栄養士・栄養士の資質向上や活性化と共に、実績作りや制度化に向けた提案や推進に努めます。				

◎ 一 般 理 事 選 任 決 議 分 野 候 補 者		届出番号	※ 11	ふりがな	もとかわけいこ	性別	男	☒ 女
		氏名	本川佳子 (満40歳)					
		勤務先	名称 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2 TEL 03-3964-3241					
		所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員番号	1 0 0 0 6 2 2 6	所属職域	研究教育	
職 業 歴 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 2006年管理栄養士取得。 2011年大学院修了後、急性期病院勤務を経て在宅栄養管理を行う。 2015年より東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と精神保健研究チーム研究員（主任）（～現在に至る） 【業績】 研究分野：高齢者の栄養ケア等 （過去5年）原著論文50件 著書・総説・報告30件 受賞：第32回日本静脈経腸栄養学会、ACD2022 受賞 ・厚生労働科学研究費補助金研究代表2件、老人保健健康増進等事業（老人保健事業推進費補助金）研究代表4件 【会員・役員歴】 2017年～会員 2018年～東京都栄養士会栄養ケア・ステーション委員 2020年～2021年度 東京都栄養士会医療事業部幹事 2020年度～現在 東京都栄養士会理事 2023年度～東京都栄養士会栄養ケア・ステーション部長				立 候 補 の 抱 負	本邦は2025年をピークに少子高齢化が急速に進行することが予測されており、医療と介護の連携やフレイル予防を進めていくことが喫緊の課題です。その高齢者の支援において食事・栄養という観点は欠かせないもので、令和元年度に公表された健康寿命延伸プランにおいても健康支援型配食等、食・栄養に関する目標が定められました。 しかし、高齢者への具体的な栄養管理に関する研究は未だ途上にあり、十分に臨床や介護の現場等で活かされているという段階には至っておりません。例えば認知症高齢者の方は低栄養となるリスクを抱えておりますが、適切な栄養ケアについてはエビデンスが十分ではなく、適切な栄養ケア方法についてガイドライン等で整理がされておられません。 これまでに私は、さまざまな委員等を拝命する中で、上記のようなギャップを埋めるため、栄養ケア・ステーション等を活用した研究事業に取り組んで参りました。 さらに理事に当選した際には、今まで以上にエビデンスに基づいた提言を行っていくことを目標に日本栄養士会の活動・事業に取り組む所存です。		

◎ 一 般 理 事 選 任 決 議 分 野 候 補 者		届出番号	※ 12	ふりがな	あべ きぬこ	性別	男	☒ 女
		氏名	阿部 絹子 (満64歳)					
		勤務先	名称 公益社団法人 日本栄養士会 〒105-0004 東京都港区新橋5-13-5新橋MCVビル6階 TEL 03-5425-6555					
		所属都道府県 栄養士会	群馬県 栄養士会	会員番号	0 1 0 0 0 7 4 5	所属職域	地域活動	
職 業 歴 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 1983年4月 群馬県職員（入庁） ～平成3年3月 沼田保健所・中之条保健所 1991年4月～1997年3月 衛生環境部 保健予防課・健康長寿課 1997年4月～2002年3月 利根保健所・渋川保健所 2002年4月～2006年3月 教育委員会保健体育課 2006年4月～2009年3月 渋川保健福祉事務所 2009年4月～2010年3月 食品安全局衛生食品課 2010年4月～2014年3月 食品安全局食品安全課 2014年4月～2020年3月 健康福祉部保健予防課 2020年4月～2022年3月 利根沼田保健福祉事務所 2022年6月～現在 公益社団法人日本栄養士会 【業績】 【会員・役員歴】 1983年4月～現在 日本栄養士会会員 ・1998年6月～2000年5月 群馬県行政栄養士協議会幹事 2008年6月～2010年5月 同上 副会長 群馬県栄養士会渋川支部支部長 2008年6月～2020年5月 群馬県栄養士会理事（学術部長） 2016年6月～2018年5月 群馬県栄養士会公衆衛生事業部長 2010年6月～2012年8月 日本栄養士会行政協議会幹事 2012年8月～2014年6月 日本栄養士会公衆衛生事業部企画運営委員 2014年7月～2020年5月 日本栄養士会公衆衛生事業推進委員会委員長 日本栄養士会職域理事（公衆衛生担当理事） 2020年6月～現在 日本栄養士会一般理事 2021年7月～現在 日本栄養士会常務理事				立 候 補 の 抱 負	2022年6月に本会の常務理事に就任し、37年間の行政栄養士として培った知識、本会の職域担当理事、一般理事、そして、県栄養士会理事としての経験を活かして職務に尽力してきました。 この間、本会の会員である管理栄養士・栄養士の社会的な地位や評価等は依然として課題が多く、特に医療・介護・保育の領域における収入増加の実現等の処遇改善に向け、要望活動をはじめ様々な対策に取り組んできました。 昨年度は診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定の要望書作成を各職域の方々と一緒に鋭意努力し、その結果、同時改定において管理栄養士による栄養管理・栄養食事指導が評価されましたが、今回の改定を確実に実装し、次の改定につなげるための人材育成が益々重要となっています。 東京栄養サミット2021の本会のコミットメントを実現するために国際活動にも積極的に取り組んできました。特に、ラオス国を対象とした「ラオ日栄養改善プロジェクト」を立ち上げ、支援活動を実践するために、多様な関係者との協議・検討を進めていますが、今後は支援活動を一緒に行うドナーの確保が課題となっています。 さらに、栄養を巡る社会情勢や様々な課題の解決には、全国の都道府県栄養士会との連携・協働により、地域の特性に応じた取り組みが益々重要となると考え、諮問会議をはじめ各地区会長会議での協議・意見交換等の充実が求められています。 このようなことから、本会の執行部の果たす役割は大きくなっており、今後も執行部の一員として十分に力を発揮していくことが必要と考えています。 2年間の常務理事としての実績を活かし、本会の執行部に課せられている役割を果たすために尽力、貢献したく、常務理事に立候補いたします。		

◎ 一 般 理 事 選 任 決 議 分 野 候 補 者		届出番号	※ 13	ふりがな	なかむら ていじ	性別	(男)・女
		氏名	中村 丁次	(満75歳)			
		勤務先	名称 神奈川県立保健福祉大学 〒 238-8522 神奈川県横浜須賀町1-10-1 TEL 046-828-2500				
		所属都道府県 栄養士会	神奈川県 栄養士会	会員 番号	0 1 4 0 0 7 5 1	所属職域	研究教育
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 1972～75年 新宿医院 1975～87年 聖マリアンナ医科大学病院 1987～99年 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 1999～03年 聖マリアンナ医科大学病院 2003～23年 神奈川県立保健福祉大学 2023～現在 神奈川県立保健福祉大学名誉学長 【業績】 卒業後、病院栄養士として、病院給食の改善、栄養相談室の設置、管理栄養士の臨床領域への進出等に尽力した。特に2000年の法改正の際、21世紀における管理栄養士の具体的姿を提言し、栄養アセスメントや栄養管理の意義・具体的方法を示し、普及活動に努めた。国の栄養に関する各種委員会の委員を担い、厚生労働省「日本人の長寿を支える『健康な食事』のあり方に関する検討会」では座長を務め、「食育基本法」や「保健指導」さらに「臨床栄養管理」等の設立に尽力した。 2003年より神奈川県立保健福祉大学教員として管理栄養士養成や研究に取り組んだ。2011年からは学長として高齢社会が必要とする地域・多職種連携、保健医療福祉社の包括化に対応できる人材育成を目指した大学運営を行い、管理栄養士・栄養士が果たす役割の重要性を社会に示した。 2008年「第15回国際栄養士会議」では組織委員長として運営にあたり国内外から高い評価を受け、翌年観光庁より表彰された。2021年「東京栄養サミット」では、ハイレベルセッションで世界の栄養不良の撲滅に貢献するコミットメントを発表した。2022年「第8回アジア栄養士会議」では、組織委員長として運営に尽力した。現在は国際栄養士連盟常任理事、アジア栄養士連盟会長として活動。日本の栄養士制度や栄養政策の成果を「Japan Nutrition」として国内外に発信している。 【会員・役員歴】 1977年 日本栄養士会会員入会 2004年～2012年、2018年～現在 会長		2000年の法改正により、管理栄養士の教育・養成さらに業務は、人間栄養を基盤とした内容に変革された。保健領域では、給食施設における栄養管理の標準化や、栄養教諭、保健指導の導入、医療・福祉領域では、栄養食事指導科の適正化や入院・入所基本科における栄養管理の条件化、栄養ケアマネジメントの標準化、病棟配置、NST、リハ・急性期・周術期への栄養管理の導入、さらに医療法における医療職としての明記等が行われた。これらは法改正による成果であり、日本栄養士会が果たした歴史的業績でもある。しかし、戦いが終わったわけではない。新たに設定されたフレームワークの中身を埋めなければならず、生涯教育を発展させてさらに高度な知識や技術を修得しなければならない。 また、新たな課題も生まれつつある。それは社会が想像以上のスピードで変化しているからだ。少子・高齢社会、気候変動、感染症、人口爆発、食料危機、国際的緊張関係の増大等、何が起きても不思議ではない状況にある。この中で我々は何のような栄養を目指すのか？ 日本栄養士会が答えなければ、誰も教えてはくれない。より人に寄り添った個別化栄養管理・指導、在宅・地域包括ケアへの参入、ITの活用、専門化と総合化の推進、産学官の実質的な連携と成果、栄養のイノベーション、非常時の日常化、栄養管理と人権等、新たな概念は萌芽しつつある。一方、管理栄養士・栄養士の処遇改善、会員増対策、組織改革等、今日的課題にも取り組む必要がある。 困難な課題が多く存在することは、無限の可能性があると思い、今回、再び立候補を決心した。日本栄養士会が今まで発展できたのは、現会員の努力と協力によるものだが、貧しい中で約1世紀に渡り会を支えた先人たちの努力も忘れてはならない。その貢献と伝統を継承し、国内のみならず世界の人々から信頼され、尊敬される日本栄養士会へと発展するよう努力することを約束する。				

◎ 一 般 理 事 選 任 決 議 分 野 候 補 者		届出番号	※ 14	ふりがな	つかはら たかよし	性別	(男)・女
		氏名	塚原 丘美	(満55歳)			
		勤務先	名称 名古屋学芸大学 〒 470-0196 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57 TEL 0561-75-2584				
		所属都道府県 栄養士会	愛知県 栄養士会	会員 番号	0 2 3 1 0 3 2 6	所属職域	研究教育
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 山口大学医学部附属病院栄養管理室 (1995～2004年) 名古屋学芸大学管理栄養学部 助手 (2004～2005年) 名古屋学芸大学管理栄養学部 講師 (2005～2010年) 名古屋学芸大学管理栄養学部 准教授 (2010～2013年) 名古屋学芸大学管理栄養学部 教授 (2013年～現在) 名古屋学芸大学管理栄養学部 学科長 (2018年～現在) 【業績】 栄養士会生涯学習等の講師 愛知県 (2014～2018年) 岐阜県 (2018年) 山口県 (2015年、2016年、2018年) 島根県 (2021年) 【会員・役員歴】 会員 1995年4月～現在 役員 なし		私は病院栄養士として9年間勤務した後、管理栄養士養成校の教員として赴任しました。管理栄養士としてのセンス、基礎分野の知識と実践的な能力を身につけてさせて社会へ送り出すためには、4年間の養成教育をどうすれば良いのか悩みながら、日々学生と接しています。 近年、管理栄養士を目指す高校生が激減し、どの養成校も受験生を集めるために、さまざまな取り組みを行なっています。しかしながら、国家試験を必要とする他の医療職とは異なり、管理栄養士免許を必要とした者のすべてが栄養・食事管理の実務者になるわけではありません。中・高校生に栄養士・管理栄養士の魅力を伝えるだけでなく、この職業を正しく理解してもらわなければなりません。若い次世代への広報活動は非常に重要と考えています。同時に、管理栄養士の新カリキュラムになって20年が経過し、より実践的な教育カリキュラムや制度改定が必要かどうか、臨地実習のあり方も含めて見直す時にきていると思います。栄養士・管理栄養士養成の新しい制度などを提案できたらと思っています。 2021年より栄養ケア・ステーション推進委員会委員として、主に調査結果のまとめを担当してきました。認定栄養ケア・ステーションは少しずつ増加していますが、地域社会における栄養ケア・ステーションの認知度は低く、もっと上げる必要があると思います。そのためには活動成果を発信する必要があります。実践活動報告や研究報告を積み重ねていくことが、多くの人や他の領域に栄養ケア・ステーションの存在を周知させることとなり、さらに医療や社会の制度を変えることに繋がる可能性もあります。この栄養ケア・ステーションの成果発信をお手伝いできればと思っています。				

◎ 一 般 理 事 選 任 決 議 分 野 候 補 者		届出番号	※ 15	ふりがな	かとう すみこ	性別	男・女
		氏名	加藤 すみ子 (満 61歳)				
		勤務先	名称 社会福祉法人いわき福音協会 シーズ 〒 970-8026 福島県いわき市平杉6-2 TEL 090-6252-9793				
		所属都道府県 栄養士会	福島県 栄養士会	会員 番号	0 0 7 0 1 5 2 6		
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 1985～1987年 佐伯栄養専門学校 1987～1988年 中華料理店 菜陽 1988～1992年 石井脳神経外科・眼科病院 1992～1999年 三基商事株式会社 1999～2001年 森永乳業株式会社 2001～2009年 介護老人保健施設サンライフゆもと 2009～2013年 社会福祉法人 いわき福音協会 福島整肢療護園(重心・肢体) 2013～2015年 はまなす荘(障害者支援施設) 2013～2020年 つばさ(就労支援A型) 2021年～現在 NPO法人 布紗 2021年～現在 社会福祉法人 ゴールデンハープ 2022年～現在 社会福祉法人いわき福音協会シーズ ・ 2024年～現在 NPO法人 ままはーと どりーむず	立 候 補 の 抱 負	1) 栄養ケア・ステーションの実態形成 2022年度より栄養ケア・ステーション事業部部長として、事業部の組織強化、都道府県栄養士会栄養ケア・ステーションとの連携強化、通年の実態調査の定着、認定制度の規定見直し、認定栄養ケア・ステーション責任者研修の充実、栄養士大会やホームページ・日本栄養士会雑誌等における広報活動、トリプル改定への要望活動、栄養ケア活動支援整備事業などに事業部・推進委員等と共に取り組み、組織の強化に取り組んで参りました。 今期は、都道府県栄養士会栄養ケア・ステーションのセンター機能がより充実するよう連携を強化すると共に、地域密着型の認定栄養ケア・ステーション(機能強化型含む)が全国各地に広がるよう、ビジョンを掲げ取り組んでまいりたいと考えております。				
			2) 障害福祉サービスにおける実態形成 障害福祉サービスにおける栄養ケアの充実については、理事に就任した2018年度より関係者の皆様と共に実態把握や人材育成、実態形成等の取り組みをして参りました。おかげさまで、令和6年度障害福祉サービス等報酬改定では、悲願でもあった通所サービスに栄養ケア・マネジメント体制が導入されたところです。 今期は、通所サービスにおける外部の管理栄養士としての栄養ケア・ステーションの活用推進のため、微力ながら尽力して参ります。				
業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【業績】 2023年 日本栄養士会会長表彰	【会員・役員歴】 2000年 入会(再入会) 2012～2019年度 福島県栄養士会理事 2017年度 日本栄養士会 福祉職域担当理事代理 2018～2021年度 日本栄養士会福祉職域担当理事 2022年度～現在 日本栄養士会常任理事 栄養ケア・ステーション事業部長					

◎ 一 般 理 事 選 任 決 議 分 野 候 補 者		届出番号	※ 16	ふりがな	とみたふみよ	性別	男・女
		氏名	富田文代 (満57歳)				
		勤務先	名称 滋賀県立淡海学園 〒 528-0235 滋賀県甲賀市土山町大野283-20 TEL 0748-67-0149				
		所属都道府県 栄養士会	滋賀県 栄養士会	会員 番号	0 2 5 0 0 4 5 5		
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 1992年～2013年3月 福祉型障害児入所施設滋賀県立近江学園 2013年4月～2017年3月 児童自立支援施設滋賀県立淡海学園 2017年4月～2020年3月 福祉型障害児入所施設滋賀県立近江学園 2020年4月～現在 児童自立支援施設滋賀県立淡海学園	立 候 補 の 抱 負	平成24年度より滋賀県栄養士会理事(福祉事業部部長)、令和2年度より滋賀県栄養士会副会長を拝命しました。私が理事に就任した当初と比べると、県や市町、他の職能団体との関わりが非常に多くなってきており、栄養士会に対する地域の期待はますます大きくなってきていると感じています。それとともに、多様化する栄養課題や食生活支援に対応できる専門性の高い管理栄養士・栄養士の育成についても重要であると認識し、取り組んでいるところです。 平成29年度からは日本栄養士会福祉事業部企画運営委員(現：福祉職域事業推進委員)を拝命し、障害分野と児童分野を担当してきました。推進委員を拝命してからも社会環境の変化に伴い、子どもの食をめぐる環境は変化し、子ども達を取り巻く環境は年々厳しさを増してきていると感じています。それにより、保育所等で働く管理栄養士・栄養士は、子どもの発達状態に合わせた離乳食や幼児食を安全に提供し、食物アレルギー対応、偏食のある子への対応、疾病への対応、子どもへの食育、保護者対応、地域の子育て家庭からの相談・助言などの役割も担っています。それらに対応するため、推進委員としてスキルアップを目的とした研修会を企画し運営をしてきました。理事としては、必置義務のない保育所への栄養士配置について取り組み、保育所や障害児入所施設に限らず、乳幼児期から学童期に至るまで全ての子どもの食環境の整備に積極的に取り組むことができると考えています。よろしくお願いたします。				
			【業績】 2021年7月 日本栄養士会会長表彰 2023年5月 滋賀県栄養士会会長表彰				
業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【会員・役員歴】 1993年～現在 日本栄養士会・滋賀県栄養士会 2012年～現在 滋賀県栄養士会理事 2017年～現在 日本栄養士会福祉職域事業推進委員 2020年～現在 滋賀県栄養士会副会長 2022年～現在 日本栄養改善学会 2022年～現在 日本摂食嚥下リハビリテーション学会						

◎ 一般 理事 連任 決議 分 野 候補 者		※ 届出番号	17	ふりがな	むとう まき	性別	男 ・ 女
		氏 名	武藤 真紀	(満 58歳)			
		勤務先	名称 福島県二本松市立二本松南小学校 〒 964-0911 福島県二本松市亀谷2丁目123番地 TEL 0243-22-6211				
	所属都道府県 栄養士会	福島県 栄養士会	会員 番号	0 0 7 0 0 9 1 9	所属職域	学校健康教育	
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 1987年～1990年 東京都内病院 1990年～1991年 東京都内保育園 1991年～2008年 福島県 学校栄養職員 2008年～2009年 福島県県中教育事務所指導主事 (栄養教諭) 2009年～2011年 福島県郡山市立行健第二小学校 栄養教諭 2011年～2016年 福島県本宮市本宮第二中学校 栄養教諭 2017年～2024年 福島県二本松市立安達中学校 栄養教諭 2024年～ 福島県二本松市立二本松南小学校 栄養教諭					立 候 補 の 抱 負
		【業績】 ・ 2005 全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 第2分科会発表 ・ 2019 スポーツ協会 公認スポーツ栄養士 ・ 2022.9 日本栄養士会雑誌トップランナー達の視点 掲載 ・ 2023 全国学校給食研究協議大会 シンポジウム パネリスト					
		【会員・役員歴】 ・ 2015～2021 福島県栄養士会健康教育部理事 ・ 政策事業栄養教諭の配置促進のための ワーキンググループ委員(2023年度) ・ ラオ日栄養改善プロジェクト検討チーム委員 (2023年～現在)					

◎ 一般 理事 連任 決議 分 野 候補 者		※ 届出番号	18	ふりがな	わたなべけいこ	性別	女
		氏 名	渡邊 啓子	(満66歳)			
		勤務先	名称 学校法人福原学園 九州女子大学 807-8586 福岡県北九州市八幡西区自由ヶ丘1番1号 TEL 093-693-3116				
	所属都道府県 栄養士会	福岡県 栄養士会	会員 番号	0 4 0 1 1 5 1 1	所属職域	研究教育	
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 1978年4月～2018年3月 公立学校共済組合九州中央病院 2018年9月～2023年3月 学校法人 中村学園大学 2024年4月～九州女子大学					立 候 補 の 抱 負
		【業績】 平成22年9月 福岡県知事感謝状 平成27年9月 厚生労働大臣表彰(栄養改善) 平成29年7月 JADEC Award for Excellent Daiabetes Educator in Daiettian 日本糖尿病協会					
		【会員・役員歴】 昭和53年5月(1978年5月) 日本栄養士会・福岡県栄養士会入会 平成12年4月～現在 福岡県栄養士会理事 (2000年4月) 平成14年～22年 全国病院栄養士協議会九州地区幹事 (2002年～2010年) 平成22年～令和2年(2010年～2020年) 日本栄養士会医療事業部企画運営委員副委員長 令和2年(2020年)～現在 日本栄養士会九州地区担当理事・人材育成事業部長 平成28年4月(2016年)～現在 福岡県医療審議会委員 平成30年5月(2018年)～現在 日本糖尿病療養指導士 認定機構理事 平成30年5月(2018年)～現在 福岡市地域包括ケアシステム推進会議専門部会委員 2019年4月～2023年3月 日本病態栄養学会病態栄養専門管理栄養士委員会委員					

2. 職域理事選任決議分野候補者

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 1	ふりがな	こばやし とおる	性別	男・女
		氏名	小林 道	(満 44 歳)			
		勤務先	名称 酪農学園大学 〒 069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地 TEL 011-388-4728				
		所属都道府県 栄養士会	北海道 栄養士会	会員番号	0 0 1 1 0 8 1 3	所属職域	研究教育
◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 2	ふりがな	なかだ ともこ	性別	男・女
		氏名	中田 智子	(満 57歳)			
◎ 職域 理事選任決議分野候補者		勤務先	名称 栃木市大平学校給食センター 〒 329-4403 栃木県栃木市大平町蔵井206-13 TEL 0282-43-2212				
		所属都道府県 栄養士会	栃木県 栄養士会	会員番号	0 0 9 0 0 4 6 9	所属職域	学校健康教育
◎ 職域 理事選任決議分野候補者		【職歴】	1998年4月～2001年7月 日立建機株式会社 中型開発事業部 設計技術員 2006年4月～2015年3月 防衛省 陸上自衛隊 技官（栄養担当官） 2015年4月～2020年3月 酪農学園大学 農食環境学群 食と健康学類 講師 2020年4月～現在 酪農学園大学 農食環境学群 食と健康学類 准教授	立 候 補 の 抱 負	2018年6月から2024年5月まで研究教育職域事業推進委員として、同職域の研修会及び施策等の推進に従事して参りました。2020年からは副委員長を務め、研究教育職域の管理栄養士・栄養士のための事業の方向性を考える機会を得ることができました。私は、現委員長の新井理事が進めてきた事業を引き継ぐとともにこれを深化させ、委員長及び理事として日本栄養士会の発展に尽力いたします。 現状、研究教育職域が進めなければならない事業は大きく2つあります。1つは養成校教員の研究教育環境整備のための勤務等の実態調査、もう1つは、策定から10年が経った「臨地実習・校外実習の在り方2014年版」の改訂を目指すことです。2023年度は、実態調査に必要と考えられる調査項目を抽出しました。引き続き調査項目のブラッシュアップを図りながら、年度内の調査実施を計画しています。臨地実習・校外実習の在り方の改訂に向けては、リモート実習などコロナ禍によって追加された対応等と変わりゆく現場の実態に則した実習内容について議論を深め、養成校が置かれている現状をかんがみたアップデートを模索します。その他、研究教育職域以外の職域との連携によって実践栄養学研究の推進を図り、エビデンスに基づいた管理栄養士・栄養士の業務の構築に努めます。 また、研究教育職域の存在意義は、管理栄養士・栄養士の育成にあります。養成校学生が早期に栄養士会に関わるためのハブとなり、新入会員の獲得に努めます。そのためには、より多くの養成校の会員が栄養士会に関わる必要があります。全国研修会等の魅力化を図り、多くの会員に参加してもらえるように努力いたします。加えて、養成校教員以外の研究職域の会員が栄養士会に関わるための方策についても随時検討を進めていく所存です。最後に、給食管理業務に約10年間従事した経験を生かし、現場の目録を忘れずに、新しい時代に活躍できる管理栄養士・栄養士の育成のために尽力して参ります。		
		【業績】 ・博士（医学）北海道大学 ・日本栄養士会雑誌の掲載論文（1件） ・小林 道、学童期に栄養教諭による授業を受けた経験が青年期の食習慣に与える影響、日本栄養士会雑誌 61(9)501-506 2018年9月 ・日本栄養士会雑誌 査読（2019年～現在） ・栄養学雑誌 査読（2020年～現在） 【会員・役員歴】 2006年6月 入会 2007年6月～2009年5月 北海道栄養士会集団健康管理栄養士協議会 幹事 2018年6月～現在 日本栄養士会 研究教育職域事業推進委員会 委員 同 副委員長（2020年6月～現在） 2020年11月～2022年6月 日本栄養士会 災害支援チーム運営委員会 委員 2021年7月～2022年3月 日本栄養士会 令和3年度栄養ケア活動支援整備事業運営委員会 委員 2022年7月～現在 日本栄養士会 生涯学習教育委員会 委員	私は学校における栄養教諭（管理栄養士・栄養士）が、児童生徒に寄り添える時間や人的配置等のシステムを構築し、給食管理と食に関する指導を一体的に行うことで、児童生徒の生涯にわたる健康、命、幸せに貢献できるように努めています。特に2023年度は政策事業として栄養教諭の実態の調査を実施しましたので、今後はその結果を活かして栄養教諭の職務の範囲など環境整備に努めていきます。 また、食物アレルギー分野管理栄養士・栄養士の認定制度について、食物アレルギー疾患による事故の防止と食物アレルギー疾患の治療に合うとともに、栄養学上適切かつ良質な食事のあり方を保ちうる給食管理、栄養管理その他の栄養の指導を行ううえで必要にして十分な専門的で実務的な知識・技能があると認められる管理栄養士又は栄養士を認定し、もって、これら認定に係る管理栄養士及び栄養士の地域社会における活動とおして食物アレルギー疾患を有する者の安全で穏やかな食生活の実現に寄与することができるよう、認定者のフォローアップ体制を含めてより充実できるように努めていきます。そして小児栄養分野管理栄養士・栄養士認定制度についても、医療や福祉等の管理栄養士・栄養士と連携し充実できるように努めていきます。 次に、ラオ日栄養改善プロジェクトを円滑かつ有効的に推進するために学校給食・学校栄養教育からの推進に努めます。 そして、日本栄養士会や各都道府県栄養士会と会員の取り組みや、新情報や有益な情報などを、HPなどで発信共有、会員や管理栄養士及び栄養士以外の方にも情報の発信に努めていきます。				
◎ 職域 理事選任決議分野候補者		【職歴】	1987年4月 栃木市立栃木東中学校 学校栄養士 1995年4月 栃木市立大宮北小学校 学校栄養士 2003年4月 都賀町立都賀中学校 主任 (平成2009年4月から栄養教諭) 2013年4月 栃木市教育委員会副主幹兼指導主事 (平成30年4月から課長補佐兼指導主事) 2020年4月 栃木市立大平中学校 栄養教諭	立 候 補 の 抱 負	私は学校における栄養教諭（管理栄養士・栄養士）が、児童生徒に寄り添える時間や人的配置等のシステムを構築し、給食管理と食に関する指導を一体的に行うことで、児童生徒の生涯にわたる健康、命、幸せに貢献できるように努めています。特に2023年度は政策事業として栄養教諭の実態の調査を実施しましたので、今後はその結果を活かして栄養教諭の職務の範囲など環境整備に努めていきます。 また、食物アレルギー分野管理栄養士・栄養士の認定制度について、食物アレルギー疾患による事故の防止と食物アレルギー疾患の治療に合うとともに、栄養学上適切かつ良質な食事のあり方を保ちうる給食管理、栄養管理その他の栄養の指導を行ううえで必要にして十分な専門的で実務的な知識・技能があると認められる管理栄養士又は栄養士を認定し、もって、これら認定に係る管理栄養士及び栄養士の地域社会における活動とおして食物アレルギー疾患を有する者の安全で穏やかな食生活の実現に寄与することができるよう、認定者のフォローアップ体制を含めてより充実できるように努めていきます。そして小児栄養分野管理栄養士・栄養士認定制度についても、医療や福祉等の管理栄養士・栄養士と連携し充実できるように努めていきます。 次に、ラオ日栄養改善プロジェクトを円滑かつ有効的に推進するために学校給食・学校栄養教育からの推進に努めます。 そして、日本栄養士会や各都道府県栄養士会と会員の取り組みや、新情報や有益な情報などを、HPなどで発信共有、会員や管理栄養士及び栄養士以外の方にも情報の発信に努めていきます。		
		【業績】 ・文部科学省委託事業を都賀町で3年間受託 ・「地産地消の仕事を」に選定（農林水産大臣） 地域コーディネーター（現在） ・学校給食における食物アレルギー対応指針作成委員（文部科学省） ・全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会指導助言者3回（主催 文部科学省等） 2011年 優秀教員表彰（文部科学大臣） 【会員・役員歴】 ・栃木県栄養士会学校健康教育協議会会長 (2008年4月～2010年3月) 以下日本栄養士会役員歴 学校健康教育推進委員（平成2014年～ 委員長2018年～現在） ・特定分野食物アレルギー管理栄養士・栄養士認定副委員長（2018年～ 2020年委員長～現在） ・理事（2018年～現在） ・雑誌企画委員（2018年～現在） ・ホームページ運営委員長（2021年～現在） ・政策事業栄養教諭の配置推進に関するワーキンググループ委員（2023年度） ・特定分野小児栄養分野管理栄養士・栄養士認定委員（2023年～現在） ・国際交流委員会委員（2023年～現在） ・ラオ日栄養改善プロジェクト学校給食・学校栄養教育検討チーム代表者（2023年～現在）	私は学校における栄養教諭（管理栄養士・栄養士）が、児童生徒に寄り添える時間や人的配置等のシステムを構築し、給食管理と食に関する指導を一体的に行うことで、児童生徒の生涯にわたる健康、命、幸せに貢献できるように努めています。特に2023年度は政策事業として栄養教諭の実態の調査を実施しましたので、今後はその結果を活かして栄養教諭の職務の範囲など環境整備に努めていきます。 また、食物アレルギー分野管理栄養士・栄養士の認定制度について、食物アレルギー疾患による事故の防止と食物アレルギー疾患の治療に合うとともに、栄養学上適切かつ良質な食事のあり方を保ちうる給食管理、栄養管理その他の栄養の指導を行ううえで必要にして十分な専門的で実務的な知識・技能があると認められる管理栄養士又は栄養士を認定し、もって、これら認定に係る管理栄養士及び栄養士の地域社会における活動とおして食物アレルギー疾患を有する者の安全で穏やかな食生活の実現に寄与することができるよう、認定者のフォローアップ体制を含めてより充実できるように努めていきます。そして小児栄養分野管理栄養士・栄養士認定制度についても、医療や福祉等の管理栄養士・栄養士と連携し充実できるように努めていきます。 次に、ラオ日栄養改善プロジェクトを円滑かつ有効的に推進するために学校給食・学校栄養教育からの推進に努めます。 そして、日本栄養士会や各都道府県栄養士会と会員の取り組みや、新情報や有益な情報などを、HPなどで発信共有、会員や管理栄養士及び栄養士以外の方にも情報の発信に努めていきます。				

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 3	ふりがな	もろ (もちづき) ひとみ	性別	男 ・ (女)		
		氏 名	茂呂(望月) ひとみ (満56歳)						
		勤務先	名称 株式会社グリーンハウス 〒 163-1477 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー17F TEL 03-3379-1211						
		所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員 番号	2 0 0 0 0 1 7 7	所属職域	フリーランス・ 栄養関連企業等		
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】		東京都栄養士会では昨年より幹事及び事業部の担当となり、研修企画などに携わっています。あわせて勤労者支援部会においてもその経験を活かし、部会の研修企画、講師調整などを行ってまいりました。また賛助会員として総会に出席し、会の運営についての課題を確認しております。					
		1990年～現在 株式会社グリーンハウス 1990年～1995年・事業所給食管理栄養士 1995年～1996年・ウエルネススーパーバイザー (リーダー栄養士) 1996年～2008年・エリアマネージャー 2008年～2018年・営業部長 2019年～2022年・栄養健康事業部 理事 2022年～現在 健康経営推進室 部長 2024年～現在 管理栄養士高度化研究室 室長 (健康経営推進室との兼務) 2022年～現在 認定栄養ケア・ステーション グリーンハウス 責任者		日本栄養士会が日本の健康寿命延伸に貢献できる組織であることを再認識し、今後ますます幅広い層への支援が必要であると改めて感じております。					
		【業績】		企業に所属する立場から見ても、幅広い年代の健康推進を行う上で、管理栄養士・栄養士の役割は大きいと思いますが、まだ認知度が高いとは言えない状況です。健康経営を推進する企業は、大・中小企業あわせて19,721社と年々増加しています。このような背景からも管理栄養士・栄養士の役割・存在価値を大きくするチャンスだと思います。					
		2022年～現在 東京都栄養士会において幹事として事業部に属し栄養士大会等の企画・運営に参画し、勤労者支援事業部においては運営委員として研修企画及び運営を担当		上記も含めて多くの国民の皆様へ健康増進を推進するためには、栄養関連企業所属の管理栄養士・栄養士にとどまらず、フリーランス含め、地域活動を行っている管理栄養士・栄養士が一体となり、ライフステージに合わせた健康支援を栄養・食事面からトータルのサポートできる組織、及び組織を活かした管理栄養士・栄養士の活動のフィールド拡大を行っていかねばと考えております。					
【会員・役員歴】		2019年～現在 日本栄養士会 会員 2022年～現在 東京都栄養士会 幹事 2021年～2023年 日本給食経営管理学会 代議員 2023年～現在 日本給食経営管理学会 理事 2021年～現在 日本給食サービス協会 産学連携委員会委員				さらに職域を超えた更なる連携強化も含めて、これからの管理栄養士・栄養士がどの部門においてもイキイキと活躍できるフィールドの形成に尽力出来ればと考え、理事に立候補いたします。よろしく願い申し上げます。			

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 4	ふりがな	もろおか あゆみ	性別	男 ・ (女)
		氏 名	諸岡 歩 (満52歳)				
		勤務先	名称 兵庫県企画部計画課 〒 650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号 TEL 078-362-4218				
		所属都道府県 栄養士会	兵庫県 栄養士会	会員 番号	0 2 8 0 3 0 9 2	所属職域	公衆衛生
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】		令和6年度より健康日本21（第3次）がスタートしました。「誰一人取り残さない持続可能な社会の実現」に向けた栄養政策の充実強化を図るためには、保健・医療・介護・福祉など各領域の管理栄養士・栄養士による相互連携や他職種連携の強化、地域ネットワークの構築など、“点”ではなく“面”での取り組みが重要です。			
		1994年4月～ 兵庫県入庁 2017年4月～ 兵庫県保健医療部健康増進課 保健・栄養指導班長 2023年4月～ 兵庫県企画部計画課交流推進班長		私は日本栄養士会公衆衛生職域理事として、①専門職業人としての倫理のもとに、健康寿命の延伸と 健康格差の縮小に向け、行政栄養士の仕事の1つ1つが、国・都道府県・市町村でどう結び付き機能していくのかを明確にし、多部署・多領域の関係者に働きかけ、横断的かつ戦略的に栄養改善政策を推進できる行政栄養士（公衆衛生専門管理栄養士〈仮称〉）を継続的に育成する仕組みづくりに尽力します。			
		【会員歴】 1994年～現在 兵庫県栄養士会会員（30年）		②成果の見える栄養施策を推進するため、地域の身近な 栄養相談拠点である栄養ケア・ステーションと行政が連携した活動を加速させます。			
		【役員歴】 (兵庫県栄養士会) 2008年～2009年 東播磨地域委員 2014年～2017年 理事 2020年～現在 監事 (日本栄養士会) 2016年～2017年 公衆衛生事業部委員 2018年～2019年 公衆衛生事業推進委員会副委員長 2020年～現在 公衆衛生事業推進委員会委員長 日本栄養士会理事 (公衆衛生職域) 日本栄養士会総務部部長 〃 災害対策事業部担当理事 〃 栄養ケア・ステーション事業部担当理事		③多発する自然災害発生時などの有事においても、専門職業人として担うべき役割を適切に果たせるよう、自治体や関係団体との連携を密にしながら、組織体制の整備と人材育成に努めます。			
人との出会いを大切に、活動の先には住民の健やかで幸せな生活があることを信じて、様々な角度からの柔軟な発想、情報の収集と発信、住民や関係者、仲間との連携と協働など、不断の行動と、目の前の取り組みを一步踏み出す勇気を持ち続け、誠意を持って職務に精進する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。							

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		※ 届出番号	5	ふりがな	みやざき じゅんいち	性別	男・女
		氏名	宮崎 純一 (満46歳)				
		勤務先	名称 社会福祉法人 恩賜財団 群馬県済生会前橋病院 〒 371-0821 群馬県前橋市上新田町564-1 TEL 027-252-6011				
	所属都道府県 栄養士会	群馬県 栄養士会	会員番号	01001695	所属職域	医療	
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 2002年04月～2004年08月 JA群馬県経済連 食材課勤務 2004年09月～2010年11月 医療法人 群馬循環器病院 栄養管理室勤務 2010年12月～現在 社会福祉法人 恩賜財団 群馬県済生会前橋病院 栄養科勤務 【業績】 論文『医療栄養情報提供書発行の有用性について』を執筆し、平成30年度、令和2年度診療報酬改定において中央社会保険医療協議会資料に引用され、退院時共同指導料2の拡充、栄養情報提供加算の新設につながった 【会員・役員歴】 2002年04月～ 入会（日本栄養士会・群馬県栄養士会） 2011年08月～2014年03月 日本栄養士会 プランニングマネージャー 2012年08月～2014年03月 群馬県栄養士会・栄養ケア・ステーションコーディネーター 2014年04月～2018年03月 群馬県栄養士会 医療事業部 副部長 2018年04月～現在 群馬県栄養士会 医療事業部 顧問 2016年04月～2020年03月 日本栄養士会 医療事業部企画運営委員（常任・関東甲信越副幹事） 2020年04月～2024年03月 日本栄養士会 医療職域事業推進委員（常任・副委員長・関東甲信越主幹事） 2024年04月～現在 日本栄養士会 医療職域事業推進委員（常任・委員長）			2016年度より日本栄養士会医療事業部企画運営委員会（現 医療職域事業推進委員会）常任委員を拝命し、2020年度より副委員長、そして今年度より委員長を拝命しました。診療報酬改定を4度経験し、2度の医療・介護同時改定も経験させていただいたことで、医療・介護・地域における同職種間連携及び多職種連携の重要性を感じております。 医療職域での経験を活かし、財務の視点においては、令和6年度診療報酬改定項目に対し、積極的な実施を促し算定率の向上に努めます。医療の質の視点においては、エビデンスを構築するため、実践的な事例を収集し活用できればと思います。会員の視点においては、顔の見える理事をモットーに、地区ブロック間での情報交換、意見交換などを活発に行います。業務のプロセスの視点においては、運営業務の優先順位を決め、効率的な取り組みを行っていきます。人材教育の視点においては、認定管理栄養士、専門管理栄養士の推進に努め、活躍できる環境の実現に努めます。 今後は医療職域での経験を活かし、各職域間での情報共有、情報提供などを行い、横のつながりを深められるよう精一杯努めていく所存でございます。			
	立候補の抱負						

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		※ 届出番号	6	ふりがな	もといえ れいこ	性別	男・女
		氏名	元家 玲子 (満57歳)				
		勤務先	名称 社会福祉法人三恵会 介護老人保健施設 希望の館 〒 791-0311 愛媛県東温市則之内甲2783-1 TEL 089-960-6336				
	所属都道府県 栄養士会	愛媛県 栄養士会	会員番号	03801149	所属職域	福祉	
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 1989年4月～1991年3月 医療法人雙立会碩心館病院 1991年5月～1992年7月 株式会社森乳クリニック 1992年8月～1999年3月 国立病院機構愛媛病院 2000年7月～2003年12月 有限会社ヘルシープラネット 2004年1月～2009年3月 独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター 2009年4月～現在 介護老人保健施設希望の館 【業績】 2014年 愛媛県栄養士会会長表彰 2016年 日本栄養士会会長表彰 【会員・役員歴】 1989年～1991年徳島県栄養士会 会員 1991年～現在 愛媛県栄養士会 会員 2019年～現在 愛媛県栄養士会 理事 2022年～現在 日本栄養士会 福祉職域担当理事 2023年～現在 愛媛県栄養士会 副会長			令和6年度トリプル改定において医療・介護・障害福祉の連携が強化・促進され、地域包括ケアシステムの構築の実現にさらに近づくものと期待しています。私たち管理栄養士・栄養士が同職種間連携や多職種連携をスムーズに行うことは職業倫理としての「自己実現をめざし、健やかによりよく生きる」とのニーズに応えることに通ずるものと考えます。 現代社会においては利便性や効率性の向上が求められる一方で、人々は金銭面や住居だけでなく、健康面の不安、人間関係やコミュニケーションの希薄化等、様々な不安を抱えて生活を送っています。食に関しても食品の安全性、栄養バランス、価格の上昇等の不安があり、おいしさや楽しさを感じるものが少なくなっているように思います。 福祉職域では高齢・障害・児童の3分野を通して「地域共生社会において、誰もが健康で豊かな生活を送ることができるように食を通じて支援する」をビジョンに掲げ、他の関係者とともに協働してすべてのステージの人々のニーズに応え、安心して暮らせる社会の実現に貢献します。会員の資質向上のため、各種研修会の実施や会員相互の情報交換等を行うとともに、現場で働く会員一人ひとりが職能を発揮できるように職場環境の改善に努めます。また、災害時に対応できるネットワークを構築していきます。新卒者や非会員に対しては各種情報発信ツールを用いた対話や連携する機会を増やして会員増対策に務め、組織強化を図ります。どうぞよろしく願いいたします。			
	立候補の抱負						